

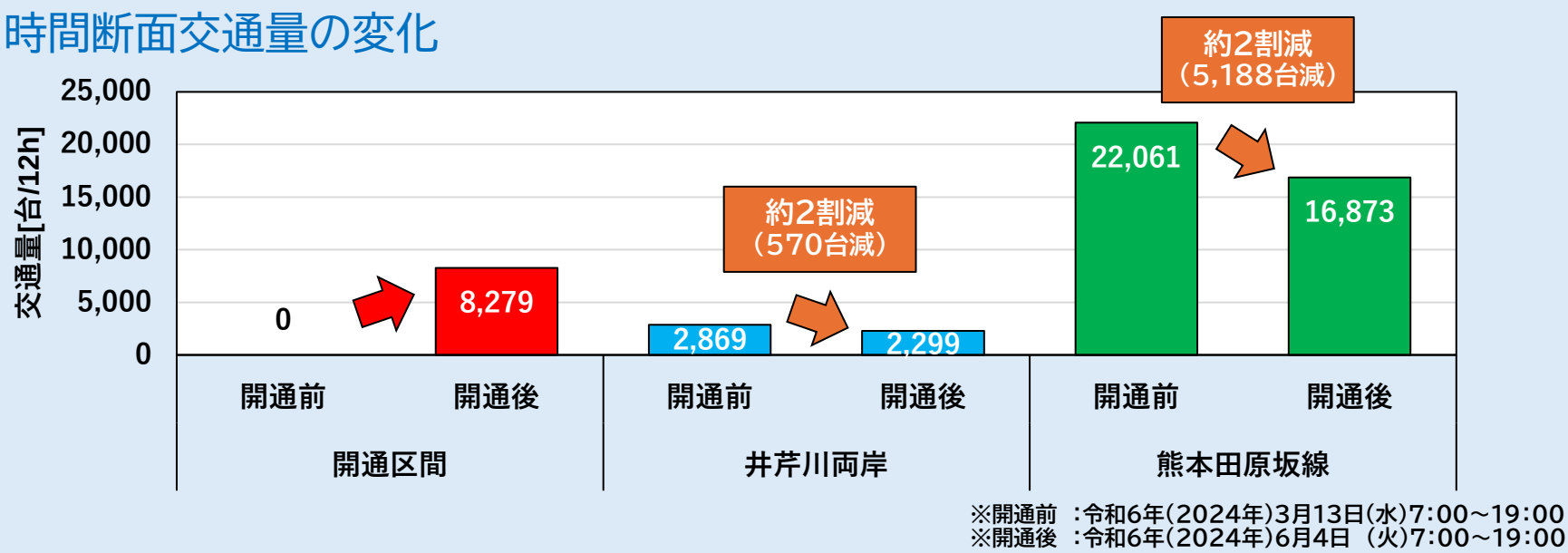
都市計画道路花園上熊本線外2線の開通により得られた効果

交通量の変化

- 開通後は、**8,279**[台/12h]が開通区間を利用(断面交通量の30%)し、井芹川兩岸、熊本田原坂線では約2割の交通量が減少しました。
- 地域の方々から、「安全に通行できるようになった」、「通勤時間が短くなった」などの声をいただいています。

交通量の変化

12時間断面交通量の変化

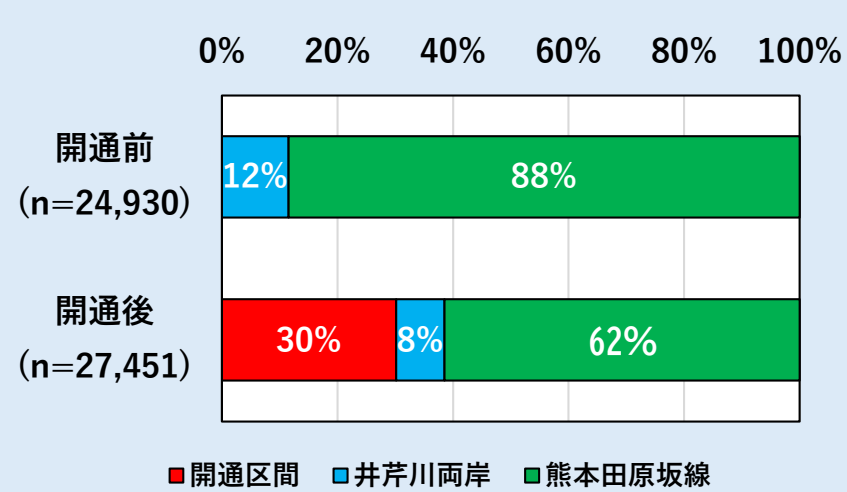


交通量観測断面



【 OpenStreetMap 】 openstreetmap.org/copyright

12時間断面交通量路線別分担率



地域の声

新しく道路ができたことで、安全に通行できるようになり、通勤時間も短縮され助かっています。

(地元住民ヒアリング)



都市計画道路花園上熊本線外2線の開通により得られた効果

効果1. 交通混雑の緩和

- 交通の分散により、**上熊本駅前の南行きの滞留が800m減少**しました。
- 交通混雑が緩和**し、バス事業者から**走行性及び定時性が向上した**との声をいただいています。

交通混雑の変化

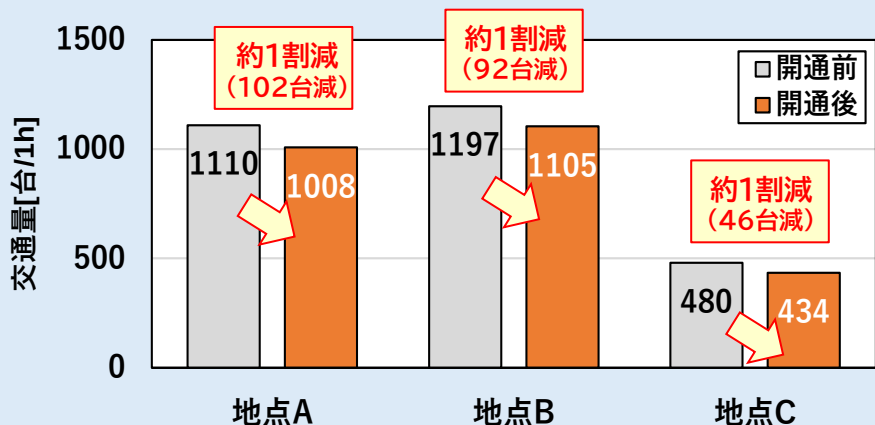
■滞留長※・交通量計測地点

※滞留長:1回の赤信号で信号待ちする車列の長さ



【 OpenStreetMap 】 openstreetmap.org/copyright

■朝ピーク時(1時間)交通量の変化



※開通前 : 令和6年(2024年)3月13日(水)7:30~8:30
※開通後 : 令和6年(2024年)6月4日(火)7:30~8:30

■上熊本駅前の交通混雑の変化(朝8:00頃)



800m減少



地域の声

開通後、朝夕の(主)熊本田原坂線の**交通量が減少したことで混雑が緩和し、南行きの定時運行ができる**ようになりました。

(バス事業者ヒアリング)



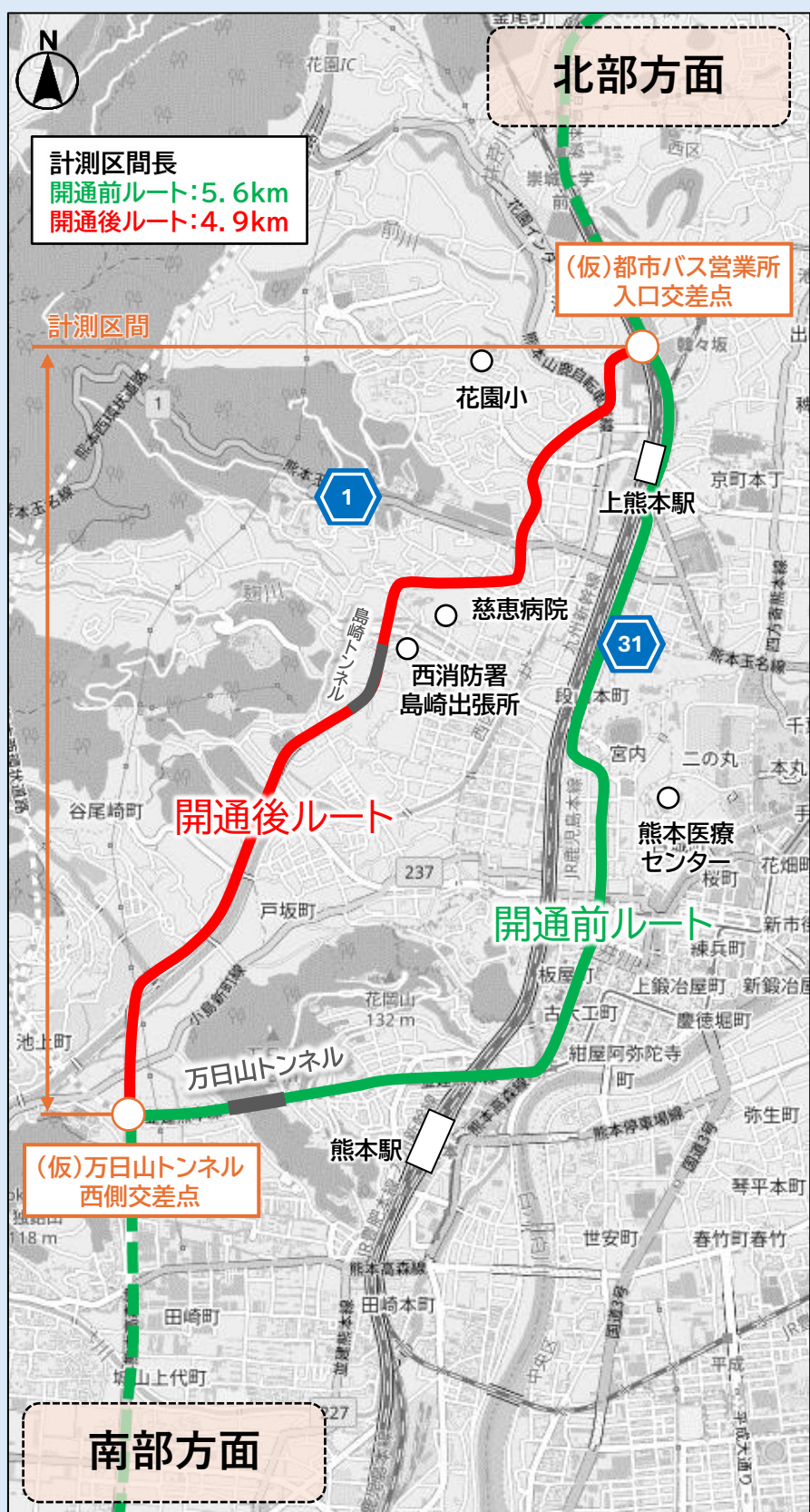
都市計画道路花園上熊本線外2線の開通により得られた効果

効果2. 所要時間の短縮

- 熊本市の北部方面と南部方面間の所要時間は朝タピーク時とも短縮され、タピーク時の南部方面行きで最大12分短縮しました。
- 所要時間が短縮されたことで、緊急出動・救急搬送の迅速化が図られ、市民生活の安心につながっています。

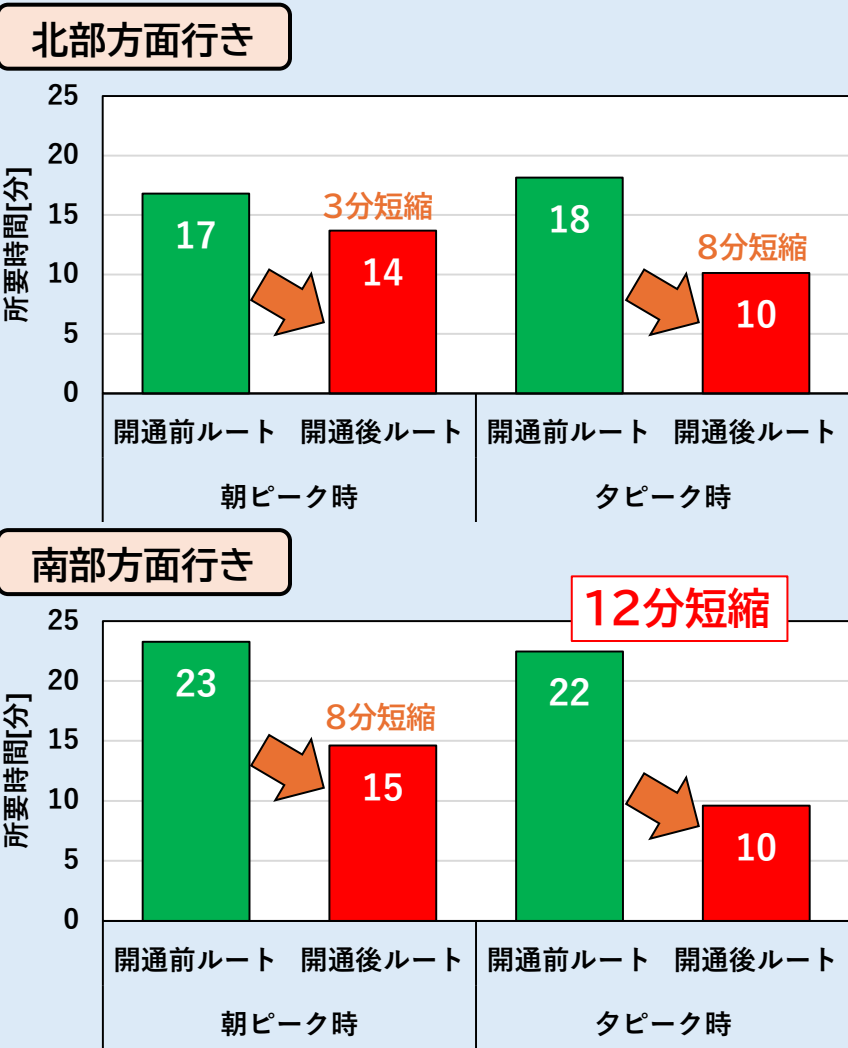
所要時間の変化

所要時間調査走行ルート



【 OpenStreetMap 】 openstreetmap.org/copyright

所要時間の変化



※開通前 : 令和6年(2024年)3月13日(水)、開通後 : 令和6年(2024年)6月4日 (火)
※所要時間: 朝ピーク時(7:30~8:30)、タピーク時(17:30~18:30)の各時間帯に2回ずつ走行した平均所要時間

地域の声

開通前は、花園小周辺への出動の際に生活道路を利用していたが、開通後は、開通した道路を通ることで、現地への到着時間が早くなったと感じています。

(熊本西消防署ヒアリング)



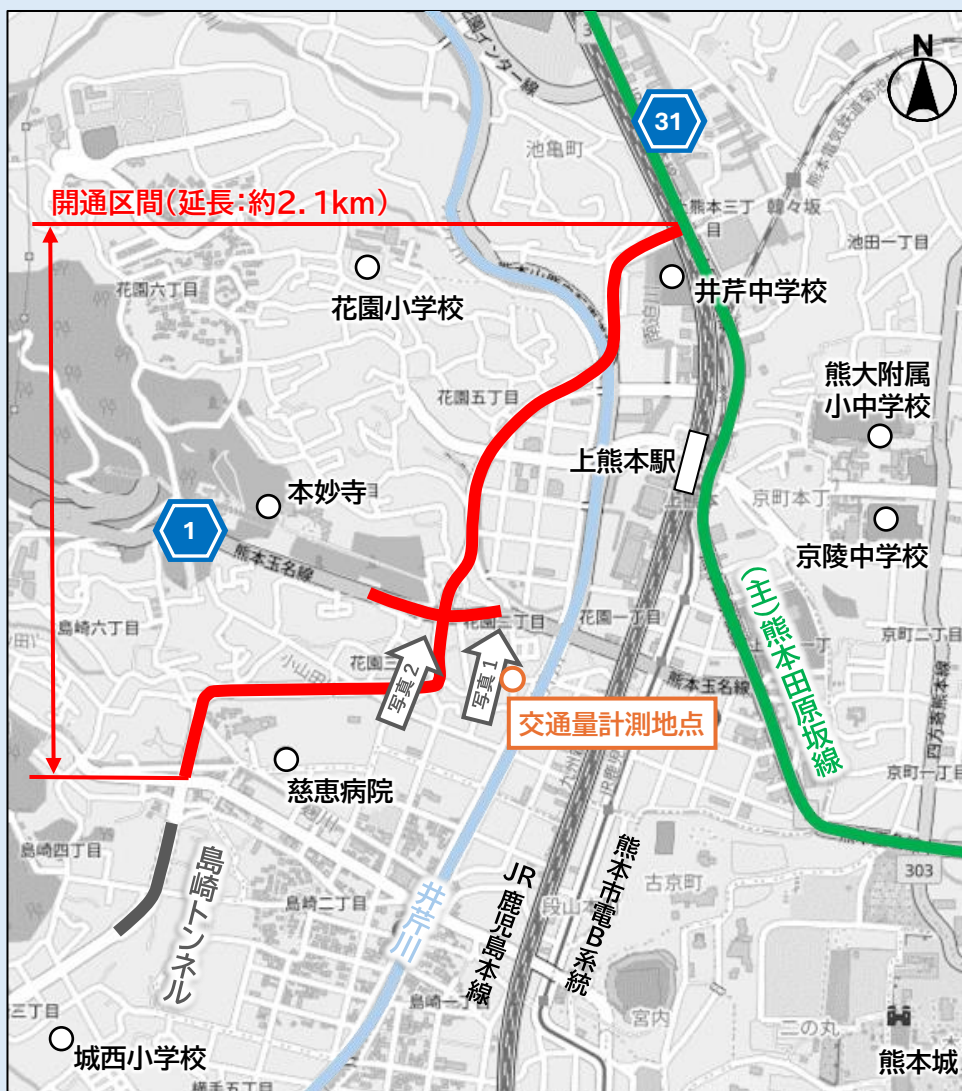
都市計画道路花園上熊本線外2線の開通により得られた効果

効果3. 安全性の向上

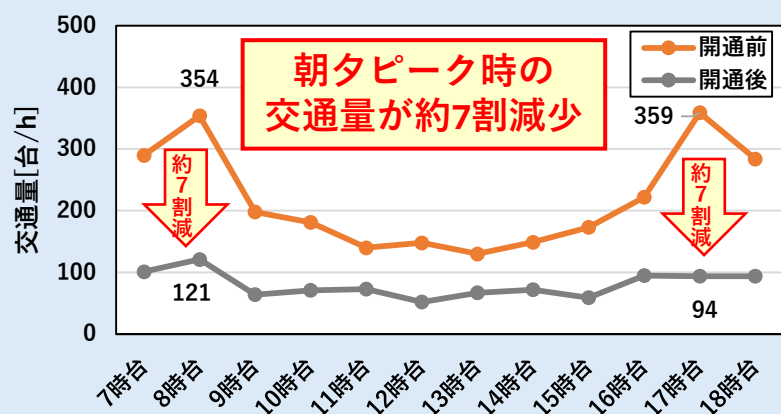
- 生活道路・通学路における朝夕ピーク時の交通量が約7割減少したことで、歩行者の安全性が向上しました。
- 学校関係者や警察関係者から、歩道が整備され、安全に通行できるようになったとの声をいただいています。

生活道路・通学路における抜け道車両の減少

交通量観測地点



生活道路における車両通過台数の変化



※開通前:令和6年(2024年)3月13日(水)7:00~19:00
※開通後:令和6年(2024年)6月4日(火)7:00~19:00

開通前後の通学状況



地域の声

歩道が整備された開通区間を通学路に指定し直しており、より安全に登下校できるようになったため、児童の安全性が向上しました。

(花園小学校関係者ヒアリング)



生活道路を通る車が開通した道路に転換し、交通事故の減少が期待できます。

(熊本中央警察署ヒアリング)

